



もくじ

特集
北前船寄港地・船主集落 3
市の財政状況 平成29年度決算(見込み) 6
個人情報保護と情報公開の運用状況 10

くらしの窓
しまなみ海道西瀬戸尾道IC夜間通行止め 他 11

健康・福祉
人間ドック助成申請/第36回おのみち市民健康まつり 他 13

子育て
子育て応援就職面接会/学校へ行こう!(学校公開) 他 16

スポーツ
スポーツフェスティバル 他 21

芸術・文化
女流本因坊戦第3局 他 22

情報アラカルト
新たな公共交通サービス「みつき乗合タクシー」 他 24

相談 30

ご長寿おめでとうございます

市では、9月を敬老月間と位置づけ、長寿をお祝いしています。今年度市内で100歳以上になるのは、9月1日現在で160人(男性23人、女性137人)です。皆さん、おめでとうございます。



■阿波睦夫さん(栗原東)
大正7年生まれ(99歳)
「元気の秘訣は自分のことは何でも自分で、自ら積極的に動くことです。現在も肉をはじめ好き嫌いなく食事をしており、特にエビフライが好物です。」



■杉野原ナミヨさん(浦崎町)
大正7年生まれ(100歳)
「現在は特別養護老人ホームに入っていて、いつも楽しく過ごしています。エプロンやタオルを畳むなどのお手伝いもしています。食事もおいしいいただき、毎日元気に過ごしています。」



■福島雪子さん(浦崎町)
大正8年生まれ(99歳)
「面会のときに持参してもらうキムチやうなぎ、巻きずしが大好きです。特別養護老人ホームに入所しており、良くしてくださる施設の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。」

トピックス-Topics- 市長表敬訪問/敬称略



2018年第7回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・愛知(9月22日~24日=愛知県)
【競泳】山根孔志(百島中学校) 寺本穂香(御調高等学校)
【陸上】藪下輝(尾道特別支援学校) 吉井健太(美木中学校) 森日奈野(社会福祉法人若菜)



第10回全日本空手道選手権大会(10月14日=神奈川県)
福岡花火(向東中学校) 木曾碧威(向東小学校) 福岡夕風(向東小学校) 山本李成(向島中央小学校)



第73回国民体育大会出場(9月30日~10月3日=福井県)
【体操競技】箱崎若葉(因島高等学校) 舟橋弥里(尾道高等学校)

人の動き[9月27日現在] ※()内は前月比。

世帯	64,625世帯	(-6)
人口	男性 66,533人	(-44)
	女性 71,340人	(-47)
計	137,873人	(-91)

市内の交通事故 [9月27日現在] 平成30年広島県 交通安全年間スローガン 危ないよ スマホじゃなくて周り見て	件数 200件 (-22) 負傷者 235人 (-54) 死者 7人 (+6) ※()内は前年比。
今月の納期限 10/31(水)	市県民税 ③ 国民健康保険料 ④ 介護保険料 ④ 後期高齢者医療保険料 ④

今月の表紙

「北前船寄港地・船主集落」が日本遺産として追加認定されました。たくさんの千石船が入港してにぎわった江戸時代には、毎年八朔の節句(旧暦8月1日)に船をかたどった田面船を子どもに贈り、その子の成長をお祝いしていました。

尾道市役所 0848-38-9111	百島支所 0848-73-2701
因島総合支所 0845-22-1311	浦崎支所 0848-73-2001
御調支所 0848-76-2111	消防局 0848-55-9120
向島支所 0848-44-0110	尾道市立市民病院 0848-47-1155
瀬戸田支所 0845-27-2211	公立みづき総合病院 0848-76-1111



北前船が行き交う尾道の港を描いた屏風絵(一部)

特集 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落

尾道市 3 冠目の日本遺産 北前船寄港地・船主集落

今年5月、尾道市を含む27自治体が、北前船寄港地・船主集落をストーリーとした日本遺産に追加認定されました。このストーリーは、平成29年度に11自治体で既に認定されていたもので、追加認定の自治体加わることで日本遺産としては最多の38自治体で構成される、幅広い地域に繋がるストーリーとなりました。

北前船とは、江戸時代に経済の大動脈だった「西廻り航路」を利用した商船のことです。北海道・東北・北陸と西日本を結んだ航路沿いの日本海や瀬戸内海沿岸には、港町が点々とみられます。そこには、現在も港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が残っています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

尾道も北前船の寄港地として繁栄し、現在も町並みの中に当時の活況をうかがうことができます。

文化振興課 (☎0848-20-7425)



北前船の模型▶